

「ふくし」の何でも相談窓口です♪

ぬかたふくしそごうそだんまどぐち
額田福祉総合相談窓口
(愛称：ふくまど)



ふくまど通信

編集・発行：ふくまど

(社会福祉協議会、額田地域包括支援センター)

場所：榎山町山ノ神 21-1

額田センターこもれびかん 2 階

営業：月～金曜(祝日・年末年始除く)

午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

電話：82-3129 /FAX :82-3139

mail: fukumadonukata@okazaki-shakyo.jp

発行日：令和 8 年 4 月 1 日

(次回発行：令和 8 年 10 月 1 日)

特集

みんなでつくる額田の交通「ごきんじょさん」

～いつまでも暮らし続けられる地域づくりを目指して～



公共交通は“木”に例えられ、“幹”の交通は鉄道、“枝”の交通は路線バス、地域のコミュニティで支える“葉”の交通はコミュニティバスや公共ライドシェア(自家用有償旅客運送など)、ボランティア(無償運送)等です。

額田地区では“枝”の交通は、名鉄バスの桜形線、額田支所市民病院線、くらがり線、“葉”の交通は、コミュニティバスとして、ささゆりバス(下山地区線)、乙川バス(形埜地区線)、のってこバス(宮崎地区線)、ほたるバス(豊富・夏山地区線)が運行しています。

コミュニティバスだけで年間約二千四百万円(R6)の公的資金が投入されていますが、利用者数は1路線を除いて減少の一途を辿っています。また、バス運転手の働き方改革などもあり、今後は運転手の人員確保困難が見込まれるなど課題山積です。

これらの課題解決を目指して、愛知県や岡崎市の担当者と地域のことをよく知る額田5学区の総代さんを中心に、各学区からメンバーが集会室へ集まり、2025年10月から12月にかけて計4回「地域の移動を考えるワークショップ」が、額田センターこもれびかんで開催されました。

ここでは、地域の移動ニーズや課題も話し合い、愛称を「ごきんじょさん～Go!近助参～」として、公共ライドシェアの導入、具体的には交通空白地有償運送の可能性について検討しました。

「ごきんじょさん～Go!近助参～」とは、地域住民の移動(Go!)を確保するために、近くの人が助ける(近くの人に助けてもらう)活動に参加しよう!というもので、名鉄バスやタクシーなど既存の公共交通を補完し、コミュニティバスに変わる新たな交通手段です。

宮崎学区が手あげして、試験的に実施予定!

令和8年度、岡崎市公共ライドシェア実証推進事業のモデルとして、宮崎学区まちづくり協議会内に部会を新設し、学区福祉委員が中心となって取り組んでいく予定とのこと。ワークショップでは「宮崎診療所への受診や宮崎保育園の送迎、また、名鉄バスのくらがり線を補完して、三井アウトレットパーク岡崎へのアクセスもできるといいね!」などの意見が出ていました。

地域住民と岡崎市、交通事業者が役割分担と連携をし、地域の課題を解決することにより、いつまでも暮らし続けられる地域づくりを推進していくそうです。「ふくまど」が目指す地域づくりと合致しているため、私たちも協力していきたいと思っています。



「地域の移動を考えるワークショップ」の様子



各学区に分かれて話し合いました

クローズアップ
ぬかた

額田地区のデイサービス
を紹介します!!

額田地区には、「デイサービスセンター榎山365」と「デイサービスセンター額田365」の2つのデイサービスがあります。食事、入浴などの日常生活上の支援や、体操、レクリエーション等

を日帰りで利用できる所です。介護を受けている方が利用するというイメージがあるかもしれませんが、体力作りや交流機会を目的に、お元気な方がたくさん通っています。「友達ができた」「食事が美味しい」「運動することで前より歩けるようになったよ」などの声が聞かれます。その他にも様々なプログラムがあり、一日を楽しく過ごされています。なかなか出かける機会が無い方、今のお元気を維持したい方など、お気軽に「ふくまど」までご連絡ください。利用方法について詳しく説明いたします。



（夏山町）
デイサービス額田 365



（榎山町）
デイサービス榎山 365

～デイサービススタッフからの一言～
美味しい食事が自慢のデイサービスです。一緒に体力づくりをしましょう。額田地区の皆さんのご参加をお待ちしています。

デイサービス相談員 古川



地域情報
Q & A

大規模災害発生！ その時、避難所はどうするの？



もしも、地震などの大規模災害が発生し、自宅で生活することが困難になったら、避難所生活を余儀なくされる場合があります。

その時、あなたは
どうしますか？

避難所は、被災者の生活場所、支援物資の提供や情報収集等の拠点となるため、早期に開設する必要があります。避難所担当者である市職員の参集を待たずに、地域住民自らが協力し、避難所にある箱「ファーストミッションボックス」を開けて、手順書に従い避難所を開設してください。



**ファーストミッション
ボックスの中身**

◆**手順書**

役割ごとに、初め(ファースト)にやるべき任務(ミッション)が記載されています。

◆**最低限必要な資機材**

- ・メガホン ・ベスト
- ・ヘルメット・軍手
- ・ヘッドライト

等々

※ ファーストミッションボックスは、災害時に避難所となる市立小学校の体育館の入口付近においてあります。3人以上集まったら箱を開けてください。また、避難所開設には、防災備蓄倉庫の資機材(簡易トイレなど)も使用します。

ふくとピ!
Hukumado Topics

ふくまどリーフレットが
新しくなりました!!



新リーフレットでは、「ふくまど」に相談していただける具体的内容について様々な相談事例を載せて、わかりやすくまとめました。今後、地域の方々や協力機関に配布していきます。額田支所にもありますので、ぜひご覧ください。

《ごまんどく体操》 各地区で週1回、介護予防活動

豊富学区/原、河仲、桜井寺、牧平、細光、滝尻、淡洲、片寄、鳥川

夏山学区/寺平

宮崎学区/千万町、宮崎

形埜学区/鍛屋、土、毛呂、桜形、麻生、南大須、大林

下山学区/保久、桃久保

編集後記

今年は寒い日が続き、額田産の柚子やカボスを添えたジンジャーティーが、心と体をやさしく温めてくれました。季節も移り、そろそろ桜や山の新緑が楽しめる頃です。春の陽気が戻ったら、私も、額田の自然を感じながらハイキングに出かけたいと思っています。(松本)

※掲載内容に関するお問い合わせは「ふくまど」(☎ 82-3129)まで。